2026　年度 授業計画（シラバス）

学　科	看護学科	科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	医療安全	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	3年	学期及び曜時限	通年	教室名	3年教室、実習室他
担 当 教 員	岡本 智子	実務経験とその関連資格	臨床でリスクマネージャー等医療安全管理業務に専門的に従事していた。		

《授業科目における学習内容》

医療安全の概略を捉え、医療安全の根本にある原理について理解できる。実際の医療安全の提供のあり方(各個人・チーム・組織)やチーム編成や規模的に見た組織としての取り組みを学び学んだ知識を統合して、具体的な事例について原理原則を演繹的に用いてディスカッション、チームで協働しながら基礎的能力を養う。

《成績評価の方法と基準》

グループワークでの参加状況(10%)、テスト(90%):

《使用教材（教科書）及び参考図書》

教科書: 医学書院『系統看護学講座　統合分野　医療安全』　医学書院:『医療安全ワークブック』

《授業外における学習方法》

事前の予習、復習(特に講義の範囲を纏める、読んでおくなど)

《履修に当たっての留意点》

前回の講義の復習を確実にすること。グループワークでのリーダーシップ、メンバーシップを発揮し、自主的に学習しましょう。

回	授業の方法		内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療安全を学ぶ意義が説明できる	シラバス、教科書	シラバス・教科書の範囲を読んでおく
		各コマにおける授業予定	授業の進め方、シラバスの説明		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療事故の考え方を理解できる	教科書・医療安全ワークブック・PC	シラバス・教科書の範囲を読んでおく
		各コマにおける授業予定	医療事故と看護業務と医療事故の構造について		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	診療の補助の事故防止について理解できる	教科書・医療安全ワークブック・PC	シラバス・教科書の範囲を読んでおく
		各コマにおける授業予定	診療の補助業務における事故防止について		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	療養上の世話の事故防止について理解できる	教科書・医療安全ワークブック・PC	シラバス・教科書の範囲を読んでおく
		各コマにおける授業予定	療養上の世話における事故防止について		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リスクセンストレーニング	教科書・医療安全ワークブック・PC	復習(グループワークでのまとめ)
		各コマにおける授業予定	事例から危険場面を考える		

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リスクセンストレーニング	教科書・医療安全ワークブック・PC	復習(グループワークでのまとめ)
		各コマにおける授業予定	事例から危険場面を考える		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リスクセンストレーニング	教科書・医療安全ワークブック・PC	復習(グループワークでのまとめ)
		各コマにおける授業予定	事例から危険場面を考える		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リスクセンストレーニング	教科書・医療安全ワークブック・PC	復習(グループワークでのまとめ)
		各コマにおける授業予定	事例から危険場面を考える		